

障がい学生支援センターだより

誰もがいきいきと学べる大学

前代未聞の事態から始まった2020年前期。

初めてのこと、慣れないことばかりで、先生方自身も試行錯誤の連続で大変な前期だったと思います。そのような中でも、障がい学生への配慮や支援について、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。学生たちに代わり、心から感謝申し上げます。

先日、「後期は対面による授業を再開する」ことが発表されました。とはいえ、今後の感染拡大状況によって、オンライン授業の併用も引き続き必要と思われる。

そこで、今号では、前号に引き続き、「オンライン授業における障がい学生への配慮・支援」について取り上げます。前号では、一般的な対応内容をお伝えしましたが、今回は、障がい学生支援センターを利用している学生を対象に実施した、**オンライン授業に関するアンケートの結果**をお届けいたします！

障がい学生が実際にオンライン授業を受講してどのようなことを感じたか、メリットや困難さ、要望など、**障がい学生のリアルな声をお伝えします！**

伝えたい内容が多く、いつもよりページ多めですが、ぜひご一読ください！

後期に向けて、先生方の教材作成や授業運営の参考にしていただければ幸いです！

前期オンライン授業に関するアンケート結果

- 調査時期：2020年8月7日～8月21日
- 調査対象者：障がい学生支援センターを常時利用している学生 **30名**（うち、回答者 **26名**：回答率 **86.7%**）
- 調査方法：WEBによるアンケート（選択式、記述式）
- 調査項目：
 1. 経験したオンライン授業の形式
 2. オンライン授業形式における困難さ、および要望
 3. オンライン授業、対面授業それぞれの良さ 等
- 対象者属性：対象者の学年および障がい種の内訳は以下のグラフの通り。

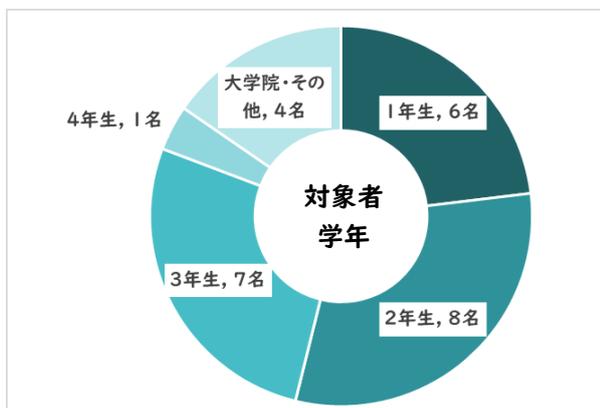


Fig. 1 対象者の学年の内訳

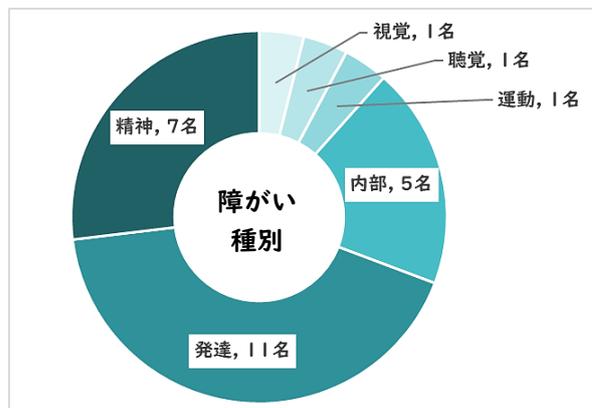


Fig. 2 対象者の障がい種別の内訳

1. 経験したオンライン授業の形式

対象者が前期に受講したオンライン授業の形式の内訳は、以下のグラフの通り。

学部や学年によって違いがみられたが、ほとんどの学生が全ての形式を経験していました。

特に、「Webclassに資料が掲載され、自習する授業」形式を受講した学生が最も多かったです。

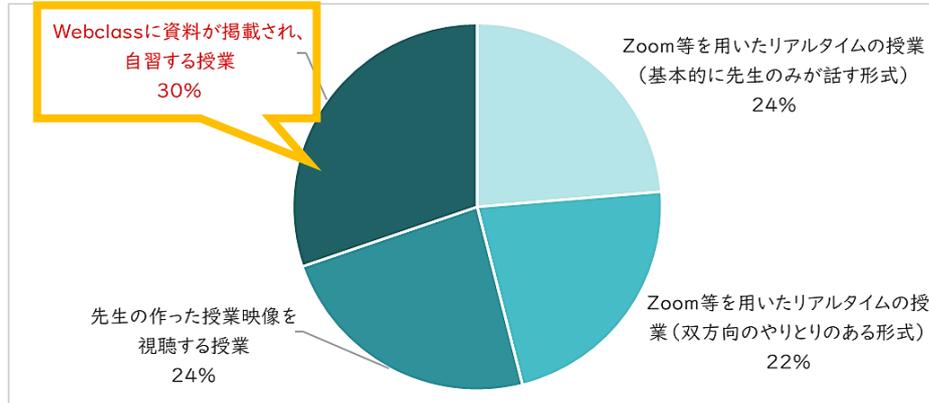


Fig. 4 受講したオンライン授業の形式

2. オンライン授業形式における困難さおよび要望

(1) 難しいと感じた授業形式は？

- ◆ 約半分の学生は「特に難しさを感じなかった」と回答していました。
 - ◆ 難しさを感じた学生の中では、「Webclassに資料が掲載され、自習する授業」が難しかったと回答した学生が最も多かったです。
- ↓
- ◆ 特に計画的に取り組むことが苦手な発達障がい学生には難しかったようです。

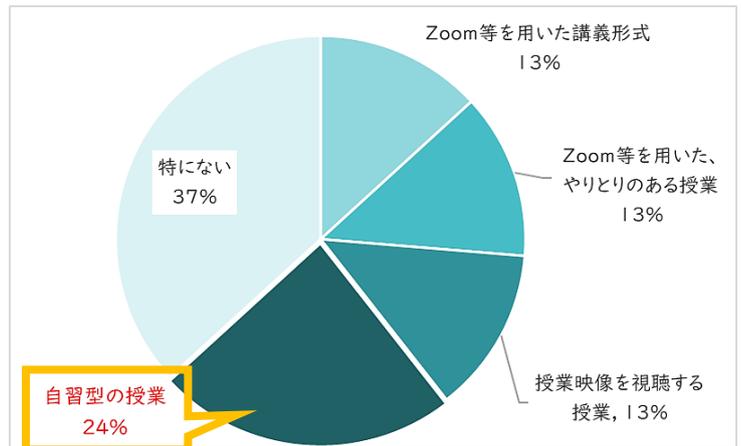


Fig. 5 難しいと感じた授業 (複数回答)

(2) 受講しやすいと感じた授業形式は？

- ◆ 回答が最も多かった形式は、「Webclassに資料が掲載され、自習する授業」でした。
- ↓
- ◆ 一般的には、自分のペースで進められる自習型が参加しやすかったようですが、(1)で示したように、難しさを感じる学生もいることを念頭に置いていただきたいです！

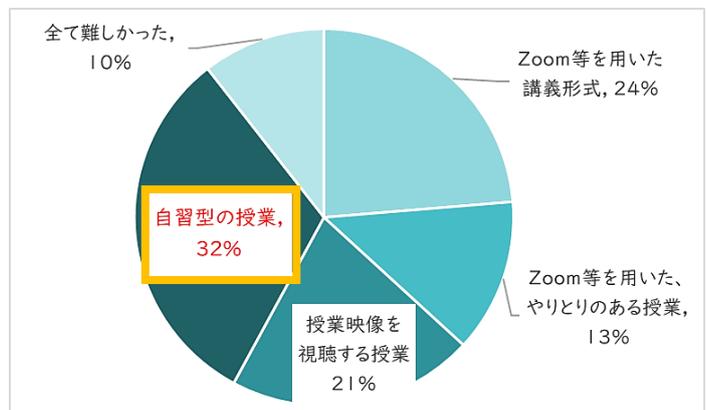


Fig. 3 参加しやすいと感じた授業 (複数回答)

(3) 授業形式ごとの困難さ

授業形式ごとに難しかった点を尋ねたところ、以下のとおり、それぞれ困難さがあるようでした。

その結果、**どの形式においても、「わからないことがあった際に質問する」ことの難しさ**を感じた学生が多かったことがわかりました。

Zoom等を用いた講義形式	・ 集中力を維持することが難しかった
やりとりのあるZoom等の授業形式	・ 「顔を映して」やりとりすることに抵抗を感じた
授業映像を視聴する形式	・ 視聴時間を確保することが難しかった ・ わからないことがあった際に質問することが難しかった
自習型の授業形式	・ 膨大な量の資料を読みこなすことに時間がかかり、難しかった ・ わからないことがあった際に質問することが難しかった
全ての形式	・ わからないことがあった際に質問することが難しかった



- ◆ まずは、「こんな難しさを抱えているんだな・・・」とご理解いただけたら幸いです。
- ◆ 質問や相談の連絡先、連絡手段等を明示いただくようお願いいたします。
- ◆ どの形式においても、授業時間帯（一部でも）の中で、Zoom やチャットツールを用いた「**質問タイム**」を設けていただくと、質問しやすくなると思います。
- ◆ 対面授業のように、**ちょっとした雑談や課題取り組みへの励まし、フィードバック**などを盛り込んでもらえると、先生や他の受講生の様子を知ることができ、**ホッとできる**と思います。

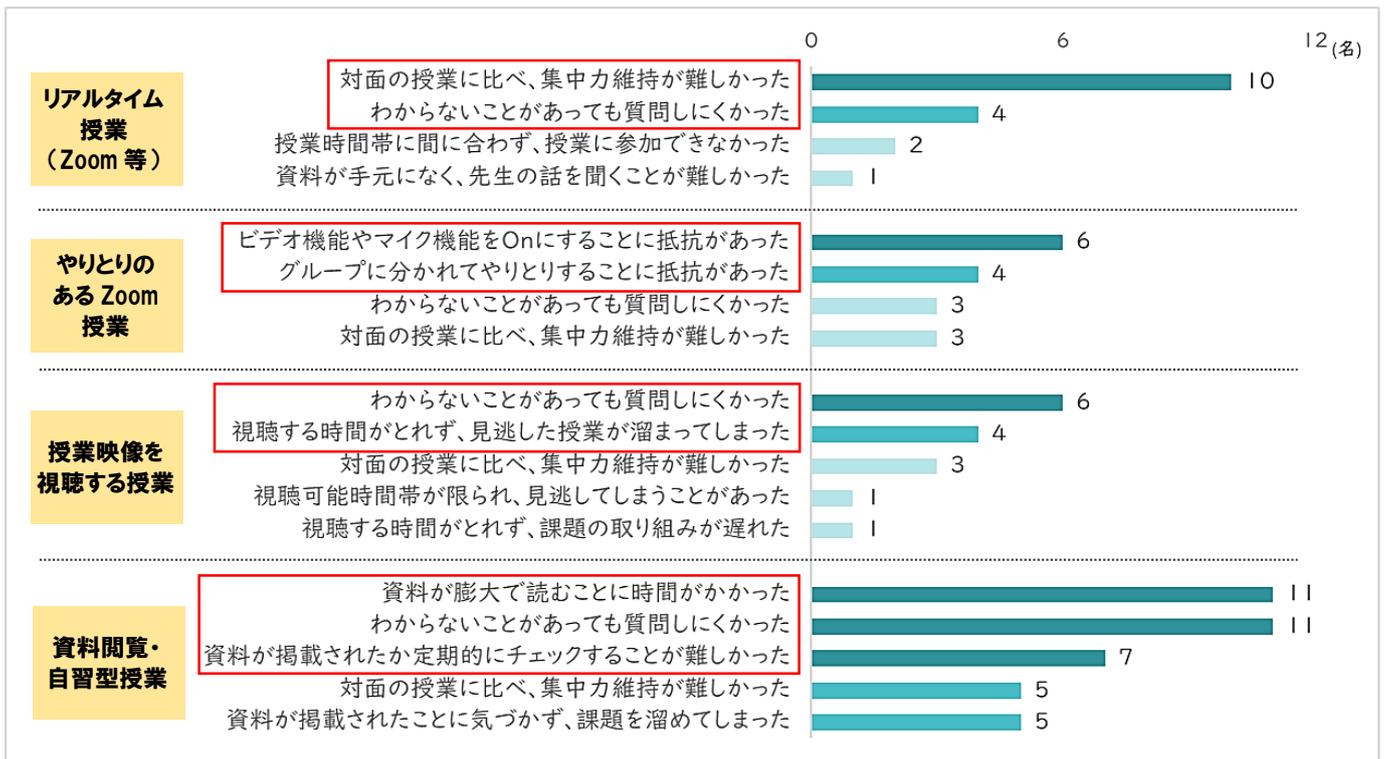


Fig. 6 オンラインの授業形式ごとの困難さ

(4) オンライン授業の困難さに対する要望

オンライン授業における困難さに対して、**どうしてもらえると参加しやすくなるか**、要望を聞いてみました。非常に要望が多かったものをお伝えします。
後期、オンライン授業を実施する際に、学生らの声を思い出してもらえたら幸いです！

- ・どの授業でも課題が出て、こなすのが大変・・・
- ・イレギュラーに重い課題が出ると対応できない
- ➡ 資料を読んだり、Zoomに参加していれば、短時間で答えられるような「**確認テスト**」くらいの課題にしてほしい!!

- ・資料がなくてノートを取るのが大変・・・
- ➡ Zoom 授業や映像を視聴する授業でも、**授業資料は必ず配布してほしい!!**
- 映像を見聞きしながら授業資料の大量の情報を書き写すことは非常に負担です。

3. オンライン授業、対面授業それぞれの良さ

オンライン授業を受けて、対面授業の良さを改めて感じた学生も多くいましたし、オンライン授業の方が参加しやすいと感じた学生もいました。それぞれの感想をご紹介します。

<対面授業の良さ>

- ★ **先生に質問しやすい!**
- ★ **毎日友人と会える!**
- ★ グループワーク等、画面越しだと緊張するけど、対面授業だと気さくに話せる!
- ★ 課題が少ない!!!
- ★ 理解しやすい、わかりやすい!
- ★ 友人や周囲の学生と課題について確認したり相談したりできる!
- ★ 先生の余談が聞ける!

<オンライン授業の良さ>

- ★ (体調が優れないことが多いため)通学しなくて済み、体力を消耗せず、**授業に専念**できた!
- ★ (録画授業は)何度も視聴でき、復習をしっかりとできた! **聞き逃したところも聞き直せる!**
→ きちんと理解ができる!
- ★ **自分のペース、落ち着いた環境**で学べる!
- ★ 授業が終わった瞬間に、ベッドに飛び込める!!
- ★ 刺激がイヤホンと画面のみで集中できる!
- ★ 登校や移動がなく、遅刻しなかった!(^_^;)!

後期に向けた 障がい学生支援センターからのお願い

- ◆ 学生は、後期からの学生生活にさまざまな不安を抱えています。
学生の質問や相談には、**いつも以上に耳を傾けて**いただきたいです!
- ◆ 配慮依頼文書が届きましたら、内容を必ずご確認ください!
当該学生と授業形式や試験方法、配慮内容について、<対話>いただくと学生は安心して授業に臨めると思います。
- ◆ 障がい学生への配慮・支援についてご不明な点があれば、障がい学生支援センターへ遠慮なくご連絡、ご相談ください。

